

平成22年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成22年5月11日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市立中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名(欠席1名)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査 10名
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成22年度公民館運営審議会計画表・・・・・・・・・・資料1
(2) 平成22年度第1回 公民館運営審議会会議要録・・・・資料2
(3) 平成22年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・資料3
(4) 公民館運営審議会に関する実態調査・・・・・・・・・・資料4
(5) こだいら公民館だより 平成22年4月号・・・・・・・・・・資料5
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告
(4) 平成22年度公民館学級・講座の実施状況について(資料3)
(5) 第48回東京都公民館研究大会 企画委員会について
(6) 公民館運営審議会に関する実態調査について(資料4)
(7) 平成22年度東京都公民館連絡協議会定期総会報告について(資料2)
(8) 平成22年度公民館運営審議会計画表について(資料1)
(9) 閉会

会議の概要

1 開会

2 配布資料の確認

3 館長報告

(1) 平成 22 年度東京都公民館連絡協議会定期総会について

開催日時 4月 21 日 (水)

開催場所 稲城市立中央公民館ホール

出席者 篠原会長 橋本副会長

中央公民館長 館長補佐 事業係職員 計 5 名

- 議事
- ・平成 21 年度事業報告及び決算および平成 22 年事業計画案、予算案が提案され、それぞれ承認可決された。
 - ・東京都公民館連絡協議会役員選任についても提案され、承認された。
 - ・その他

(2) 小平市における事業仕分けについて

昨年度に引き続き、小平市で実施される「事業仕分け」において、公民館については「中央公民館運営管理事業」をはじめ、11 事業が対象となる。

(3) 公民館だよりについて

公民館だよりについては今年度、一層の充実を図っていきたいと考えている。具体的には、執筆は勿論、編集についても、公民館職員だけでなく、公運審及び利用者団体等にも、将来的に加わってほしいと考えており、7月の公民館だよりから、徐々にリニューアルできればと考えている。

質疑応答

委員 前期の公民館運営審議会の中で、公民館だよりを楽しく読み易くするために、写真を載せてはどうかという要望があった。これからの情報なので、写真は掲載しにくいかもしれないが、工夫できるのであれば改めて要望したい。またページ数は従来と同じなのか。

事務局 写真掲載に関しては、公民館としても前向きに考えている。他にもアイデアがあれば、是非聞いていきたい。ページ数については、要望があれば検討する。

ただ、情報量が多い時と少ない時があるので、臨機応変に作成していきたい。

4 平成 22 年度公民館学級・講座の実施状況について

資料 3 より説明

仲町公民館・上宿公民館・花小金井南公民館主査より、各公民館にて開催される公民館まつりについて、紹介した。

質疑応答

委員 ある館で開講し、好評を博したテーマの講座を他の館でも企画するということはあるのか。

事務局 ある。例えば今年度はヨガの講座がそれに該当する。市民が広く学習する機会を多く持つために、より良いもの、より質の高いものをどんどん取り入れたいと考えている。

委員 講座の申し込みについて、落選してしまった市民に対しては、抽選結果通知が来ない。落選通知も送られてきた方が、利用者にとっては良いのでは。

事務局 それについては、今後検討していく。

委員 受講人数が多くなるとも、充実した講座であったという報告を聞くことが多々ある。受講生や講師の都合を考慮した上で、公運審の委員が、講座の見学をさせてもらうということは可能なのか。

事務局 実際に講座を見学した委員の意見を聞くことは、今後の企画の参考になる。今後、そういった機会を設けられるように、検討していきたい。

5 第 48 回東京都公民館研究大会 企画委員会について

開催日時 4月27日(火) 13:30~15:30

開催場所 小平市立中央公民館

報告事項

- ・小平市内5分科会に分け、中央公民館、小川公民館、小川西町公民館、花小金井南公民館の4館で行うこと。班編成は事務局から提案する。
- ・大会のテーマについては、21日に開催される第2回企画委員会において、

各団体の特徴、問題点を挙げたうえで、三多摩の公民館の特徴・改善点を見出し、テーマとする。

- ・ 5つの課題別テーマについては、大会テーマが決定した後に検討するものとする。

6 公民館運営審議会に関する実態調査について

資料4により説明

7 第1回委員部会運営委員会について

開催日時 4月28日(水)

開催場所 昭島市公民館

- ・ 委員部会研修会を、7月・11月・2～3月に企画している。
グループ討議等を行う場合、メンバーの自己紹介、各市の状況を紹介することに多くの時間を使ってしまい、あまり講義内容に触れられないことが多い。各市の状況についての資料を用意したらどうかという意見が出た。

8 平成22年度公民館運営審議会計画表について(資料1)

資料1により説明

(1) 6月、8月、2月の自主公運審については、5月28日の三役会で日程を調整する。

(2) 第1回目自主公運審について

開催日時 6月8日 16:00～

開催場所 中央公民館会議室

- 議題等
- ・ 関東甲信越静公民館研究大会参加者について
 - ・ 都公連委員部会研修会参加者について
 - ・ その他

(質疑応答)

委員 各研修会・大会と、公民館運営審議会の関係性について教えて欲しい。

会長 各研修会および大会は、公民館を良くするために必要な知識を身につける場であるが、公運審との関係性や各会議について不明な点があれば、自主公運審において話し合いたい。

委員 公民館運営審議会委員の職務について、例えば研究大会の分科会を担当することは、法により規定された委員の職務の範囲には入るのか。

- 委員 市報により公運審委員の募集がなされた際、年7回の定例会開催についてしか記載がなかった。実際にはその**3**倍の回数は、出席を義務付けられた会があるようだが、その会議の多さに驚いている。
- 会長 市報に掲載されていたのは、年7回の定例会開催についてだけであったが、その7回の会の中で審議される議題については、7回出席するだけでは分からないことも多い。様々な場所で研修を受けることが必要であるし、特に都公連の委員部会研修は、初めて公運審委員になった委員のために基礎的な知識を提供する場でもあり、各市の委員と共に、公民館における問題解決をしていく場でもある。諸事情により、やむなく欠席される場合もあるかと思うが、研修会等の出欠席については研修会日程前の会議で確認することとする。
- 事務局 事業として公民館が運営しているものは7回であり、その他の会議等については、この公運審の中で話し合われることと思う。研究大会は**10**年に**1**回の事業であり、当日は何百人という方が来館される。公民館職員だけで運営するのではなく、小平市の公民館の運営に携わる公運審委員と共に運営することは、我々の、また来られる方の気持ちでもあろうと考える。
- 会長 他市で大会が開催された時には、大会事務局市が小平市からの参加者を温かく迎えてくれた。同様に、今年度は小平市が、他市から来られる大勢の方をサポートしたい。このような行事の運営について、公民館職員のみで全部決めてしまうのではやはり寂しいのではないかと思う。公民館に携わる者として、共に企画・運営をすることは、我々自身にとっても勉強になると思う。
- 委員 市報の募集記事は読まなかったが、審議するために**30**日間準備することも、また少ししかやらずに審議会に臨むこともできるので、その他については自主的な活動になるのであると考える。
- 委員 私が子どもと関わる中でよく聞くのが、子どもが自由に出来る曜日が限られているということである。説明を受けた公民館主催講座は、非常に意義があるものの、大人対象のものばかりであり、子ども対象の議題が全く出てきていない。
- 会長 子どもを対象としたジュニア講座はある。
- 委員 子ども自身は講座ではなく、公民館で子ども対象の時間が欲しいようである。

会 長 「土曜子ども広場友・遊」が、子どもの遊び場として開放されているが。

委 員 子どもたちは、土曜日は塾やスポーツクラブサッカーで時間が無く、むしろ日曜日のほうが時間を持て余してしまうようだ。子どもの声なしに「土曜子ども広場友・遊」があるから、ということとは言えないと思う。

会 長 学校の行事としては、日曜日はどうだろうか。

委 員 一概には言えないが、青少隊等のイベントをやるとしたら土曜日が多い。

事 務 局 「土曜子ども広場友・遊」は本来、学校が週五日制になったことに伴って始まったもので、土曜日に子どもの居場所を提供することが趣旨である。積極的に利用してほしいと思うが、日曜日の件については、参考にした。

9 閉会

次回は、7月13日（火）13：30から開催する。